



山頂の神社で一言に声を響かせました

不況にめげるな

「元旦詠唱会」(1月1日)

達子森山頂の薬師神社で、達子郷中会の「達子森元旦詠唱会」が開かれました。

この詠唱会は気分さわやかに新年を迎えようと始まった年頭行事で、今年で3回目。日の出とともに大声を発して、新年を祝いました。

朝7時ごろの日の出に合わせて頂上に登った参加者10人は、神社の四方に立ち「不況にめげるな、あけましておめでとう」と声をそろえ、すがすがしい表情で1年のスタートを切りました。



勇壮な武士舞い(二ノ曾我)

代野番楽を奉納(1月1日)

田代地域岩瀬の代野稲荷神社で、市無形民俗文化財「代野番楽」の奉納が行われ、保存会の会員が五穀豊穡を祈願して伝統の「舞い」を披露しました。

この日は、曾我兄弟があだ討ちけいこをする様子の「二ノ曾我(にのそが)」や、武士が獅子を退治する「金巻(かねまき)」など迫力のある舞いが演じられました。

集まった20人の観客に甘酒が振舞われ、最後に餅まきが行われると歓声が沸き上がっていました。



良い1年になりますように

新年の想いを筆に込め(1月6日)

老壮大学の学生と子どもたちが触れ合い、書き初めをする「新春書き初め交流会」が開かれました。

この日は小学生1年生から6年生までの16人と老壮大学書道クラブの学生8人が参加。

子どもたちは、学生たちから指導を受けながら真剣な表情で2時間以上も書に取り組み、ようやく完成すると自慢の1枚を手にも笑みを浮かべていました。



場内は活気にあふれていました

景気回復に願いを込めて(1月5日)

公設総合地方卸売市場で多くの買い受け人らが参加して、新春の初競りが行われました。

朝6時30分から景気回復を願い3本締めで景気付けをした後、地場野菜から新年最初の競りを開始。

冷え込んだ場内では、ハウレンソウやネギなどの商品を次々に競り落とす買い受け人たちの威勢の良い声が響いていました。

「鳳凰山の下に」

大館鳳鳴高校応援団演舞会(1月11日)

大館鳳鳴高校応援団の演舞会「鳳凰山の下に」が市民文化会館で行われ、伝統を受け継いだ応援演舞を披露しました。

演舞会は、普段の部活動応援などの他にも披露する場を作ろうと平成18年から毎年開かれ、今回は男女合わせて18人が出演。ステージでは、伝統ある校歌や応援歌に加え、女子部員らチアガールの躍動感あふれる踊りや野球部員と一緒に力強く応援歌を披露するなどの演出を繰り広げ、訪れたOBや市民らを楽しませました。



力強く演舞を披露

元気良く踊り会場を沸かせました

